

様式第2号(第9条関係)

会 議 録

| | | |
|---------|--|----------------------|
| 会議名称 | 大空町地域包括支援センター運営協議会 | |
| 開催日時 | 令和3年8月12日(木) | 17時00分から 17時50分まで |
| 開催場所 | 大空町役場議事堂文化ホール | |
| 出席者の氏名 | 出席委員 三條幸夫 高木恵一 山川秀雄 高野英生 川崎教男 原本光枝 山本幸一 坂井朋子 鈴木武昭 原本哲己 阿部雅浩 事務局 福祉課 鈴木章夫 佐藤清美 里見亜弥 山田進也 田村隆明 住民福祉課 阿部征弘 | |
| 傍聴者の数 | 0人 | |
| 会議資料の名称 | 大空町地域包括支援センター運営協議会議案 | |

| | |
|----------|---|
| 審議内容及び結果 | <p>報告第 1 号 地域包括支援センターの運営状況について</p> <p>《議案書のとおり説明》 【質疑事項】なし</p> <p>議案第 1 号 令和 2 年度活動報告及び令和 3 年度活動計画について</p> <p>《議案書のとおり説明》</p> <p>【質疑事項】</p> <p>委員：地域支援事業の総合事業に関して、大空町の要支援認定者が他と比べて多いと話があったところ。以前の第 8 期大空町保健福祉計画策定時にも総合事業の報酬単価の弾力化について話題にしたところですが、なぜかという、事業者としての立場から言うと、報酬単価が非常に安い。事業所としては厳しい。実情にあった単価設定にしていきたい。この先を考えると、どこの地域でもそうであるが、訪問系サービスのヘルパーのなり手がいない。こんな中で事業が存続をしていけるかと心配である。特養本体の人材を持っていけば可能なのですが、特養自体も人材確保が非常に厳しい状況。一般公募も難しく、人材派遣会社に年収の 20 から 30% を支払ってでも採用するとか、外国からの実習生を受け入れるとかを考えていかなければならないことが想定される。いろいろな経費が増えてしまう。人口が減り、労働力が減る中で介護現場での労働力が減っていく中でどうしていくか、どちらかという、不採算部門。このような状況の中で、持続的に事業運営をしていくために報酬等の見直しをしていただ</p> |
|----------|---|

けないかとのお願いです。

事務局：介護保険計画策定の時にも同じような意見をいただいている、今後、近隣自治体の状況も踏まえながら報酬単価についても検討していきたいと思っています。不採算事業であっても必要なサービスを維持していくために必要な支援はおこなっていかなければと思っています。人材の確保は介護の現場にとって深刻な問題であると数年来言われていることであり、どうしていくかということについては事業者の皆さんと十分に意見交換し協力しながら進めていきたいと思っています。引き続き現場の声を聞かせていただきながら政策に反映していけるようにご協力いただきたいと思っていますのでよろしくお願いします。

委員：12ページの包括的支援事業の地域におけるネットワーク構築について、実際にネットワークの構築をどのように図っているのか、どのように展開されているのか現状について聞きたいです。

事務局：病院、医療機関から包括に連絡があったり、反対に包括から医療機関に連絡を取るなどして、気になる住民の方の情報のやり取りをしています。もちろん、ご家族からの相談があって、了解を得たうえで連絡をして、退院してきた時に困らないようにサービス等がつながるよう対応をしております。その他、介護事業所の方たちと地域ケア会議やケース連絡会の中で連携をしております。また、介護保険サービスを利用する時にプラン作成をするのですが、その際に包括支援センターも事業所の一員として関わっており、課題やサービスの内容等について一緒に検討しています。それらが、数に反映されており、数字が大きくなっているかと思えます。

委員：わかりました。ありがとうございます。

その他 認知症初期集中支援チーム検討委員会について
運営協議会終了後、山木先生入室し引き続き認知症初期集中支援チーム検討委員会を開催。

報告第1号 認知症初期集中支援チームの配置について

《議案書のとおり事務局より説明》

●質疑事項● なし。

報告第2号 令和元年度活動報告
協議第1号 令和2年度活動計画

《議案書のとおり事務局より説明》

●質疑応答● なし。

閉会